

まちの話題



究真館文化発表会

11月12日

山口校長から「浮羽究真館高校は、前身である浮羽郡立浮羽高等女学校の設立から110年以上の長きにわたり生徒の姿が途絶えることなく歴史を繋いできました。そして、この地で学んだ先輩方は4万人近くに及び、いつも学校のこと、後輩である生徒の皆さんを気にかけて応援しています。創立記念日には学校の歴史、この町のこと、数多くの先輩方や地域の方々の思いを考えて欲しい」とのあいさつのあと、6名の2年生が「うきはの地」について、うきはの自然、医療福祉、農業特産、企業建築、歴史、観光資源をいかし、今後どのようにしていけばうきは市がより良い町へ変わっていくのかなど、調査研究の成果をしっかりと力強く発表しました。

また、午後からは書道部のパフォーマンスと吹奏楽部の演奏、生活環境学系3年生によるファッションショーが披露され、展示部門では写真部のコンテストや美術部の絵画展、華道部の生け花の展示がありました。



11月20日、地域の皆様に笑顔と元気を届けるために、浮羽青年会議所主催のサプライズ花火が、旧浮羽郡10か所で打ち上げられました。

